

# 喜志小だより

平成31年春休み号  
富田林市立  
喜志小学校

メイク・ハート



## 新しい時代に向けて 校長 西山 正人

3月15日に、喜志小学校を89名の6年生が巣立っていきました。数日前までは、雨が降るような予報でしたが、当日は素晴らしい好天に恵まれ、素晴らしい卒業式となりました。卒業生の別れの言葉や歌声は、はつらつとして門出の決意を表していました。在校生代表として参加した5年生の態度や演奏も大変立派で、最高学年としてのバトンをしっかりと受け継いでくれたように感じました。

4月には新しい元号が発表され、5月には平成の次の時代が始まります。最近の世の中の進歩の速さを考えると、次の時代がどのようになっていくか想像もつきません。しかしながら、教育が果たすべき役割はぶれることはないと思われます。子ども達の心身が、すこやかに、そしてたくましく生きていく力を付けることができるよう、子ども達を指導していくということは、いつの時代になっても変わらないからです。

4月4日には、新しい1年生が入学してきます。そして8日には、平成31年度として新しい1年が始まります。みんな揃って迎えられるよう、春休みの生活についてご配慮いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまして、本当にありがとうございました。来年度もよろしくようお願いいたします。

### 喜志小ギャラリー



2月27日のお別れ集会の様子です。見守り隊の方々へお礼の気持ちを伝えました。